

平成 29 年(2017 年) 9 月那覇市議会定例会

代表質問発言通告書(1 日目)

平成 29 年 9 月 7 日(木)

割当時間(答弁を除く) { ニ ラ イ 45 分  
日 本 共 産 党 35 分

順位	氏 名 (会派名)	発言事項	発言要旨
1	翁長雄治 (ニライ)	1 市長の政治姿勢について  2 保育行政について  3 協働によるまちづくり行政について  4 スポーツ行政について	那覇市長の選挙公約の着手率と進捗率について伺う  那覇市の子育て支援について (1) 本庁、首里、小禄、真和志各地域における待機児童数を伺う (2) こども医療費の無償化について伺う (3) 放課後児童クラブについて伺う  校区まちづくり協議会支援事業の進捗と今後の計画について伺う  現在那覇市で行われている生涯スポーツの取り組みと今後の展望について伺う
			<b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、教育長、関係部長

代表質問（1日目） 平成29年9月7日(木)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	永山 盛太郎 (ニライ)	<p>1 防災行政について</p> <p>2 公園管理について</p>	<p>沖縄近海での地震発生に対する防災対策について伺う</p> <p>(1) 地震発生時における各避難場所の市民への告知及び避難誘導體制について伺う</p> <p>(2) 津波緊急一時避難ビルの耐震化、特に市管理の上山、古蔵、仲井真中学校、垣花小学校の耐震化対策について伺う</p> <p>(3) 津波緊急一時避難ビルの高さ及び収容人数について伺う</p> <p>(4) 備蓄倉庫の数、場所、保管品等について伺う</p> <p>本市の公園管理に関して伺う</p> <p>(1) 新都心公園、漫湖公園の駐車場有料化について伺う</p> <p>① 駐車場有料化の目的について伺う</p> <p>② 有料化の成果及び公園使用料の取り扱いについて伺う</p> <p>(2) 公園の設備について伺う</p> <p>① 遊具について伺う</p> <p>② 漫湖公園の外灯設備について伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

代表質問（1日目） 平成29年9月7日(木)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	上原 快佐 (ニライ)	<p>1 平和行政について</p> <p>2 選挙行政について</p> <p>3 児童福祉行政について</p> <p>4 障がい福祉行政について</p> <p>5 環境行政について</p>	<p>(1) オスプレイの一連の事故についての市長の見解を伺う</p> <p>(2) 北朝鮮弾道ミサイル発射についての市長の見解を伺う</p> <p>(3) Jアラートの運用及び訓練状況について伺う</p> <p>(1) 那覇市議会議員選挙の投票率の推移について伺う（期日前と当日の割合）</p> <p>(2) 年代別の投票率の推移について伺う</p> <p>(1) 放課後児童支援員処遇改善事業の概要を伺う</p> <p>(2) 放課後児童支援員処遇改善事業の他メニューについて伺う</p> <p>(3) 近隣自治体の状況について伺う</p> <p>(1) 本市の就労継続支援A型事業所の現状について伺う</p> <p>(2) 就労継続支援A型事業所数の推移について伺う</p> <p>(1) 本市のヒアリの現状について伺う</p> <p>(2) ヒアリの対策について伺う</p> <p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、教育長、関係部長、選挙管理委員長</p>

代表質問（1日目） 平成29年9月7日(木)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	清水磨男 (ニライ)	<p>1 子育て行政について</p> <p>2 プロスポーツの整備について</p> <p>3 中心市街地について</p> <p>4 新文化芸術発信拠点施設整備事業について</p>	<p>療育センターの体制強化、機能強化の進捗状況について伺う</p> <p>J1対応サッカー専用スタジアムの進捗状況について伺う</p> <p>(1) 中心市街地とは、どこを指すのか</p> <p>(2) 中心市街地活性化策の現状と今後の計画について伺う</p> <p>(3) 「街なか居住」のための取り組みと進捗状況について伺う</p> <p>(1) これまでの進捗と今後の計画について伺う</p> <p>(2) 周辺整備の計画について伺う</p> <p>(3) 市民からの課題について伺う</p> <p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

代表質問（1日目） 平成29年9月7日(木)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	古堅茂治 (日本共産党)	<p>1 那覇市議選挙について</p> <p>2 北朝鮮の核実験、弾道ミサイル発射について</p>	<p>(1) 今回の那覇市議選挙は、67人の多数立候補者で現職23人、前職2人、元職1人、新人14人の40人が当選、8人の現職が落選した。日本共産党は全員当選で、前回の6議席から1議席増の7議席に躍進。自民党は前回の15議席（選挙時無所属の栗國・奥間議員は含まず）から7議席に後退し、自民党、公明党、日本共産党が同じ7議席となった。見解を伺う</p> <p>(2) 市議選挙の投票率は戦後最低の51.20%。有権者の約半数が棄権した。選挙管理委員長の見解を伺う</p> <p>北朝鮮は3日、昨年9月に続く6回目の核実験を強行した。北朝鮮の核実験は、今年だけでも13回行った弾道ミサイル発射とともに、世界と地域の平和と安定にとっての重大な脅威であり、累次の国連安保理決議、6カ国協議の共同声明、日朝平壤宣言に違反する暴挙である。それは、国際社会が追求している「対話による解決」に逆行する行為であり、核兵器禁止条約の採択など「核兵器のない世界」を求める世界の大勢に逆らうものである。日本共産党は、強い憤りをもって、この暴挙を糾弾し、抗議する。また、通告もなしに日本上空を通過させる弾道ミサイル発射は、国際的常識を無視した極めて危険な行為である。軍事衝突の被害は日本にも深刻な形で及ぶことになる。おびただしい犠牲をもたらす軍事衝突は、絶対に回避しなければならない</p> <p>今、国際社会と関係国には、経済制裁を厳格・全面的に実施することと一体に、困難はあっても対話による問題解決の道を粘り強く追求することが求められている</p> <p>核実験、弾道ミサイル発射についての市長見解を伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>3 核兵器禁止条約について</p> <p>4 米軍基地問題について</p>	<p>世界には、15,000 発近くの核兵器がある。人類は今、破滅の道を進むのか。命輝く青い地球をめざすのか岐路に立たされている</p> <p>1945年8月、アメリカ軍が広島（6日）、長崎（9日）に人類史上初めて投下した原子爆弾は、一瞬に広島・長崎を壊滅させ、数十万の人々を無差別に殺傷し、広島で約14万人、長崎で約7万4000人がその年のうちに尊い生命が奪われた</p> <p>原爆投下から72年、広島・長崎の被爆者などの活動が世界各国を動かし、核兵器禁止条約が7月7日、米ニューヨークの国連本部での条約交渉会議で国連加盟国（193カ国）の約3分の2の賛成（122）反対1、棄権1で採択された。条約は「ヒバクシャの受け入れ難い苦しみと被害に留意する」と掲げ、核兵器の使用や、開発、実験、生産、製造、取得、保有、貯蔵などを禁止するだけでなく、使用をちらつかせて脅すこと（核抑止力）も禁止している</p> <p>「核兵器のない世界」への扉を開く画期的な核兵器禁止条約採択について、市長の見解を伺う</p> <p>(1) 普天間基地所属MVオスプレイ 24機の内、2機が墜落、緊急着陸も相次ぎ、市民、県民、国民の生命が危険にさらされている。欠陥機MV22 オスプレイは、直ちに飛行中止し撤去すべきである。市長の見解を伺う</p> <p>(2) 8月17日の日米の外務・軍事担当閣僚による安全保障協議委員会（2プラス2）の共同発表文書は、名護市辺野古の米軍新基地建設について「唯一の解決策」と改めて強調し、「可能な限り早期の完了」を果たす「強い決意」を表明。辺野古の新基地建設や、墜落事故を起こしたばかりの米海兵隊機オスプレイの本土への訓練移転などを「在日米軍のプレゼンス（存在）および活動に対する地元の支持を高める」と述べている。沖縄の民意を一顧だにせず、「辺野古が唯一」と米軍新基地に固執する日米政府の許しがたい軍事最優先の姿勢について市長の見解を伺う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
			<p>(3) 沖縄県は7月24日、「普天間飛行場代替施設建設事業に係る岩礁破碎等行為の差止請求事件」について、那覇地方裁判所に訴えを提起するとともに、沖縄県知事の許可を受けることなく岩礁破碎等行為をしてはならないとの仮処分命令を求める申立てを行った。市長の見解を伺う</p> <p>(4) 8月21日、米サンフランシスコの連邦高裁は、日米の環境保護団体がジュゴンを保護するため、米軍普天間飛行場の名護市への移設工事の中断を求めた訴訟で、米裁判所には工事中止を命じる権限がないとして訴えを棄却した1審の判断を破棄し、サンフランシスコ連邦地裁へ差し戻した。市長の見解を伺う</p>
		5 軍民共用那覇空港について	<p>(1) 那覇空港の発着回数、旅客数、第2滑走路増設事業の進捗について</p> <p>(2) 自衛隊機による那覇空港の滑走路閉鎖状況について</p> <p>(3) 過密な軍民共用那覇空港での自衛隊機の増強の状況について</p>
		6 観光振興について	<p>(1) 沖縄への観光客数、外国人観光客数、宿泊施設数、観光収入、観光経済波及効果について</p> <p>(2) ジャイアンツ那覇キャンプの経済波及効果について</p> <p>(3) 多言語案内、無料Wi-Fi拡充、外国人急患への対応・受け入れ態勢の整備について</p> <p>(4) 那覇港のクルーズ船寄港実績、経済効果について</p> <p>(5) 那覇港のバース不足で、クルーズ船が寄港できなかった回数とその経済損失について</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>7 平和行政・平和教育について</p> <p>8 性の多様性の尊重、人権行政について</p>	<p>(1) 城間市政の英断でスタートする「那覇市戦没者追悼式」の目的、開催内容について</p> <p>(2) 平和 こども 未来 ひと つなぐ まち をキャッチフレーズとする城間市政での平和行政、平和教育の位置づけと取り組みについて</p> <p>(1) レインボーなは宣言2年、那覇市パートナーシップ登録制度開始1年、市長部局、教育委員会での取り組みについて</p> <p>(2) 7月1日～8月28日まで開催された那覇市歴史博物館の企画展、「『性の多様性を尊重する都市・なは』宣言～その歴史と背景～」の内容、成果、反響等について</p> <p>(3) 9月23日に那覇市が共催して開催する「第5回ピンクドット沖縄」について</p>
			<p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、選挙管理委員長、関係部長</p>



代表質問（1日目） 平成29年9月7日(木)

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	湧川朝渉 (日本共産党)	<p>1 道徳教科書の採択について</p> <p>2 国民健康保険について</p>	<p>(1) 那覇市、浦添市、久米島町、南大東村、北大東村の5市町村で構成される那覇採択地区協議会が、来年度から使用される小学校の道徳教科書に教育出版を採択したことに、教育関係者や市民から、批判がある 道徳教科書は民主的な手続きで採用されたのか。決定過程を問う</p> <p>(2) 議事録・委員名を公開すべき。見解を問う</p> <p>(1) 那覇市をはじめ沖縄全県の国保は、厚労省が行った前期高齢者財政調整制度の影響を受けて、莫大な赤字を余儀なくされている 2015年度決算までにおける、那覇市と沖縄全県の累計の赤字総額はいくらか</p> <p>(2) 莫大な負担を押し付けて、なんの対策も講じない政府のやり方は、まさに、「沖縄いじめ」である 那覇市では、この負担が市民サービスの向上・実現に大きな壁となっている。前期高齢者財政調整制度の欠陥を放置するやり方は許せない 前期高齢者財政調整制度による赤字を解消するための繰り入れに対する補填を、県内の市町村と力を合わせて、再度国に求めるべきである。当局の見解を問う</p> <p>(3) 2018年4月から国民健康保険の財政運営が市町村から県に移管されることに伴い、沖縄県が発表した保険税の試算金額を問う</p> <p>(4) 那覇市民の税負担は限界であり、国保料の値上げをすべきではない。繰り入れを継続して行うべきである。当局の見解を問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>3 子ども政策の充実について</p>	<p>(1) 那覇市母子生活支援センター・さくらが、実施している、夜の子どもの居場所事業等の内容と実績、その効果を問う</p> <p>(2) 児童館の目的と役割を問う。すべての児童館で、夜の子どもの居場所事業等をすべきと思う。当局の見解を問う</p> <p>(3) 17カ所の中学校区に児童館の機能を備えた複合施設を建設すべきである。当局の見解を問う</p> <p>(4) ひとり親世帯の市営住宅への優先入居枠の現況とその拡充について、当局の見解を問う</p>
		<p>4 子ども医療費の無料化について</p>	<p>(1) 2017年4月の県案の内容とその後の経過について問う</p> <p>(2) 子ども医療費の無料化の効果について</p> <p>(3) 県と連携して、病院窓口での支払い方法は、現行の自動償還払いを、現物給付にすべき。見解を問う</p>
		<p>5 学校給食費の無料化について</p>	<p>(1) 学校給食の位置づけと役割について、見解を問う</p> <p>(2) 日本国憲法第26条第2項「義務教育はこれを無償とする」と定めている。義務教育の一環である学校給食を無料にすべき。教育委員会の見解を問う</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
		<p>6 保育所の待機児童解消計画について</p> <p>7 小禄支所の建て替えについて</p>	<p>(1) その進捗状況について問う</p> <p>(2) 待機児童解消計画を実行あらしめるための、万全な対策が強く求められている。当局の見解を問う</p> <p>(1) 1974年建設・43年が経過、老朽化でコンクリートの剥離が多発し危険性が高い、小禄支所の安全管理について、当局の見解を問う</p> <p>(2) 補正予算の内容と今後のスケジュールを問う</p>
			<p><b>【答弁を求める者】</b> 市長、副市長、教育長、関係部長</p>